

山都町立矢部小学校 学校だより



矢部小HP

令和7年1月20日(月)

第39号

## 2次元コード”

←カラー閲覧できます

校長 池部 聖吾智 (みわとも)

自分らしく ~Be Unique~

☆☆

どう過ごす「次学年のゼロ学期」

3学期は「学年のまとめ」という意味に加え、「次学年になる準備をする学期である」という意味もあることを始業式で子どもたちに話しました。

2学期からの課題として2点挙げていました。まず「あいさつ」について。帽子をとって挨拶する子が増えました。金曜日の朝は、曲がり角に隠れ（笑）私を待ち伏せて挨拶してくれた子もいました。さらに、今後は「地域に響く」レベルにしていきたいです。

2点目の「歌声」について。こちらは大きな課題です。冬で窓を閉めていることも多少は影響しているのですが、朝、中庭に立って「今月の歌」を聴いていますが児童の声が聞こえてきません。放送の音が勝っているのです。

八朔祭において鼓笛「演奏」で多くの人に感動を与えたチカラを持った伝統ある矢部小学校。これに「歌声」響く伝統を新たに加え、「進化する矢部小」を具現化しましょう

「楽しむ」人には、かなわない

出典：「山口周著 人生の経営戦略 ダイアモンド社」

紀元前時代中国の思想家・孔子の言葉に「これを知るものはこれを好むものに如かず。これを好むものはこれを楽しむものに如かず」というのがあります。これを社会心理学の立場で言えば、「外発的動機で動く人＝頑張る人」は「内発的動機で動く人＝楽しむ人」には勝てないということになるそうです。（以上、前掲書より引用）

パリ五輪女子柔道金メダリストの角田夏美選手は、以前世界選手権で銀メダル獲得後に極度のスランプに陥り、結果を残せずにいたそうです。そんなとき、コーチからの助言で「思いっきり結果も関係なく負けても楽しい柔道をやる」と決め勝敗よりも柔道を楽しむことを大切にしたら練習も楽しくなりスランプから脱出できたそうです。私自身も、これまでの人生の中で、大変なことや面倒くさいところに遭遇する場面が多々ありました。そんなとき世をうらみ、くよくよしたところで何も解決しません。そこで、課題から逃げず、トラブルを楽しみながら手を打っていくと次々と解決できました。何よりも貴重な経験が学びとなったのです。

# 矢部抄

この週末も腹いっぱいの日間だった▼土曜日は熊本市内で講演会。地域おこしに係る興味深い話だった。話を聴きながら山都町のことを考えた。今やつてゐることは「バタフライエフェクト」にあたるかなあ・・と頭の中で自画自賛してみた笑▼会の後は、軽く呑んで帰った。店のあるビルから出ていると本校〇〇先生と遭遇した。スゴイ偶然である。同じ店だったのかな？▼日曜日は、先週に引き続き地域行事に参加した。本校児童の参加が昨年より少なく寂しかったが、行事そのものは大変楽しませてもらった▼午後からは菊池の実家へ行った。今回は木を何本か切った。昨日は、かなりの距離を運転した。夕食は宅配ピザを注文。ＬサイズかＭサイズ２枚か？ここは数学の知識を用いて計算。トクなのはＬサイズだが多くの種類を食べたいのでＭサイズ２枚を注文、全８種を食して満足！

